

平成 29 年度地方財政対策について 〔 大臣合意ポイント 〕

平成 28 年 12 月 19 日
総 務 省

1 一般財源総額の確保等

- ・ 一般財源総額について、社会保障の充実分の確保も含め、平成 28 年度を 0.4 兆円上回る 62.1 兆円を確保
- ・ 機構準備金の活用など地方交付税の原資を最大限確保することにより、地方交付税(交付ベース)について 16.3 兆円を確保。あわせて臨時財政対策債の増を+0.3 兆円に抑制
- ・ これにより概算要求時点における地方交付税の減と臨時財政対策債の増を可能な限り抑制

(参考:概算要求時点)

地方交付税:16.0 兆円(対前年度▲0.7 兆円) 臨時財政対策債:4.7 兆円(対前年度+0.9 兆円)

一般財源総額 62.1 兆円(+前年度比 0.4 兆円、前年度 61.7 兆円)

一般財源総額(水準超経費除き) 60.3 兆円(同+0.04 兆円、同 60.2 兆円)

・ 地方税	39.1 兆円(前年度比+0.4 兆円、前年度 38.7 兆円)
・ 地方譲与税・地方特例交付金	2.7 兆円(同 +0.1 兆円、 同 2.6 兆円)
・ 地方交付税	16.3 兆円(同 ▲0.4 兆円、 同 16.7 兆円)
・ 臨時財政対策債	4.0 兆円(同 +0.3 兆円、 同 3.8 兆円)

2 公共施設等の適正管理の推進等

- ・ 公共施設等の集約化・複合化、老朽化対策等を推進し、その適正配置を図るため、現行の「公共施設等最適化事業費」(⑳ 0.2 兆円)について、長寿命化対策等を追加するなど内容を拡充し、新たに「公共施設等適正管理推進事業費(仮称)」として計上(㉑ 0.35 兆円)
- ・ 一億総活躍社会関連施策(保育士・介護人材等の処遇改善)に必要な経費を計上(㉑ 0.2 兆円)
- ・ まち・ひと・しごと創生事業費について、引き続き1兆円を確保
- ・ 緊急防災・減災事業費を拡充し、復興・創生期間である平成 32 年度まで4年間延長(㉑ 0.5 兆円)

3 歳出特別枠の見直し

- ・ 平時モードへの切替えを進めるため、公共施設等の適正管理や一億総活躍社会の実現に取り組むための歳出を確保(0.25 兆円)した上で、同額を歳出特別枠(㉒ 0.45 兆円)から減額(㉑ 0.2 兆円)